




第8学年 国語科学習指導案

1 単元名

「話し合って考えを広げよう」

2 単元計画

時	1	2	3	4 (本時)	5	6	7
ねらい	思考を形成する学習の過程				思考の形成・言語活動		
学習内容	○学習の見通しをもち、自分の考えを形成する。		○パネルディスカッションを行う。		○パネルディスカッションを行う。		
	○パネルディスカッションについて知る。 ○学習課題の設定をする。 ○自分の考えをもつ。	○情報を収集・整理する。 ○小グループで、ミニパネルディスカッションを行う。	○発表者の主張概念を知り、自分の考えをもつ。 ○パネルディスカッションを通して、自分の考えをもつ。 ○振り返りを行い、自分の考えを再構築する。				
ICT	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 タブレットPC 		<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 書画カメラ タブレットPC  			<ul style="list-style-type: none"> 振り返り 	

3 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

(1) 指導内容の「系統性」

第1・2学年	身近なことや体験したことを中心に話す。 大事なことを落とさずに興味をもって聞く。
第3・4学年	相手や話す目的などを明確し、根拠や事例を挙げながら話す。 話の中心に気を付けながら、自分の考えと比較して聞き、感想や質問を述べる。
第5・6学年	目的や意図に応じて、話の構成を工夫し、事実と感想、意見とを区別しながら話す。 自分の考えとの共通点や相違点、関連した考えなどを交えながらまとめる。
第7・8・9学年	相手や場面意識を明確にし、自分の経験や知識を整理して、説得力のある話をする。 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。

既習事項の確認

話すこと・聞くこと	ICT (ロイロノート)
第7学年：自分の意見を形成するために、中心となる意見を明確にし、整理して相手に伝わるように説明することができる。	第7学年：キーワードを提示し、自分の意見を視覚的に明らかにする。相手に伝わるように話し方を工夫する。
第8学年：「おすすめ本の紹介」をテーマとし、資料を用いて自分の意見が相手に伝わるようにする。	第8学年：話す順序を意識して、資料を工夫する。
第9学年：相手の考えや意見の要点をつかみ、それに対して疑問に思ったことや自分の考えをもつ。	第9学年：効果的な話し方を意識してロイロノートなどを活用する。

(2) 指導法の「連続性」

①つまずきと指導の工夫

- (1) 表現することが苦手な生徒には、付箋やノートを使ってアイデアを出してから、どのように表現するとよいかを考えるように助言する。
- (2) 見通しがもてるようにいくつか参考となる資料を提示し、既習事項を活用して自分の考えをもつようにする。
- (3) 話し合ったことで考えたことを、最終的に自分の考えとしてまとめるようにする。

②きちんと身に付けさせておく内容・学びのつながり

- (1) 自分の経験や社会の出来事を踏まえて、自分の考えをもつようにする。
- (2) 相手の話を踏まえ、自分の考えを広げる。

4 本時（7時間扱いの4時間目）

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い直す
学習活動	興味関心を高める 見通しをもつ	自分の考えを形成する	考えを広げる	
タブレットPC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 学習内容の確認 ・既習事項の確認をする。 ・本時の学習内容を知り、見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 調べたことをもとにミニパネルディスカッションをしよう </div>	・前時までの復習をし、学習の見通しをもたせる。
2 ペアになり、互いに発表のリハーサルを行う。 3 グループで、ミニパネルディスカッションを行う。 ・各グループで配布資料をもとにミニパネルディスカッションを行う。 4 グループごとにブレインストーミングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ○フロアの共感が得られるかという観点に基づき、話し合う。 ・資料の適性や妥当性 ・予想される質問や意見 など </div>	・タブレットPCを活用して、互いの準備した資料から発表を行わせる。 ・聞き手は、発表の根拠が適切かを確認しながら話を聞くようにさせる。 ・質問を想定させる。 ・ミニパネルディスカッションをしてみ、改善する点やよりよくするために必要なところをグループで話し合わせる。 <問い直し> ・質問や助言を踏まえ、自分の意見を再構築できるようにする。
5 学習の振り返り ・自分の発表やグループの発表について振り返る。	★発表を振り返り、よりよい資料や内容になるように再考したり、新たな考えをもったりしている。
6 学習のまとめ ・次時の予告をする。	・次の学習の見通しをもたせる。